



発行所：みんなで政治を考える会  
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2  
ハウスドゥ四糸ビル601  
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智  
国会事務所  
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館632号室  
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。  
題字：栢木寛照

# えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)  
第3種郵便物認可 平成2年1月18日  
口 座 01000-4-62360

平成22年 **4** 月号  
No.224

京都の智恵を日本に活かす。  
二ノ湯智ホームページ <http://www.ninoyusatoshi.com>

## 山田氏、共産候補を大きく引き離す



街頭演説会で山田候補の支援を訴える二ノ湯参議院議員

### 選挙戦後半、自民党フル回転 関心は早くも夏の参議院選挙

京都府知事選挙は、政権交代後、初めての京都における大型選挙であった。山田知事は3選に向けて、政党の推薦を受けないと表明したが、政党の協力なしに選挙は戦えないことは明白であった。しかし参議院選を直前に控え、自民、民主の思惑もあり、各政党の支援態勢がなかなか整わなかった。自民党京都府連は共産党に支持された知事の誕生は絶対に阻止しなければならないとの思いから、山田氏を支援することに決定、府会、京都市会議員を中心に山田氏勝利のために全力を傾けた。選挙戦は不順な天候に左右され、終始盛り上がりには欠け、まさかの事態も想定されたが、府民の良識が示され、山田啓二氏が、25万票近くも門候補を引き離し、3度目の勝利を飾った。

なお、知事選と同時に執行された、南丹市長選、亀岡、八幡の府議補選、与謝野、井手両町の町議選では、自民党を中心とした保守が圧倒的な勝利を収め、府下における保守の底力を見せつけた。

### 恒心

★「政権交代」というかっこよいキャッチフレーズで登場し、当初80%近くあった鳩山内閣の支持率が、一部報道機関の調査では30%を切ったようである。「政治とカネ」での説明責任のなさ、沖縄の

米軍普天間基地の移設問題での二転三転の発言が国民の信頼を失くした大きな理由である。まさに危険水域に近づいてきたようだ。★支持率の低下は、民主党の体質に対する失望が増えつつあるのだろう。鳩山、小沢両氏の献金疑惑、現職の衆議院議員の逮捕、小沢幹事長の秘書の逮捕、鳩山首相の秘書の在宅起訴、北海道教職員組合の不正献金、辞職しない小林千代美議員、国家公安委員長の不適切な行為等、次々と問題が出てきている。★深刻なのは、それらの問題に誰も責任をとらないことである。野党時代、政府自民党に少しでも不祥事が発覚すれば、激しく責め立て、秘書の罪は政治家本人の責任でもあるとカッコよく発言していた当時の鳩山首相の面影は今や微塵も見られず、国会での答弁は、のらりくらりと終始逃げまわり、その姿は情けない限りである。★それにしても、民主党の国会議員はどうしているのかと言いたい。これだけ疑わしい醜聞が噴出しているのに、2、3の議員が多少批判らしい発言をしているだけで、責任を取るべきだという勇氣ある声は全く聞こえてこない。誰に遠慮をしているのか、誰が怖いのか。★民主党には若い国会議員が多い。若い人は、正義感が強く、しかも権力に抵抗し、反骨精神があるものと国民は期待し、長い間政権にあつて、多少驕つていた自民党から民主党に票を投じた。それが、鳩山、小沢に対して無抵抗、自浄能力なしでは何のための政権交代なのか。国民は民主党に裏切られたと思うに違いない。

## 二ノ湯議員の 今国会での発言

1月早々から始まった通常国会。自民党が野党として臨んだ国会は、冒頭から鳩山首相、小沢幹事長の「政治とカネ」の問題で激しいやり取りが繰り広げられた。二ノ湯議員は総務委員会に所属しているために、予算委員会のようにテレビ出演の機会がないが、与党時代と違って質問する機会が多くなった。選挙が近くなると、改選を迎える議員はなんとなく落ち着かない。心はいつも選挙区。厳しい選挙事情を考えると、やむを得ない質問をしたがらない。しかし、国民に国政を託された以上、責任を果たさねばならない。国権の最高機関にすることを忘れてはならない。平成22年度NHK予算、地域主権改革の推進と国と地方の協議の場の法律、地方自治法改正について本会議、総務委員会で質疑を行った。それぞれの質疑の要旨は次の通りである。なお、4月13日の質問内容は紙面の関係で、2回にわたって掲載します。

### 総務委員会NHK質問 (3月30日)

☆二ノ湯議員…3月19日に札幌地方裁判所は、受信契約を結んでいるのに4年4か月分も受信料を滞納し、それに対しNHKが12万円を請求した訴訟で、NHK側の請求を棄却いたしました。こ

の判決をどのように受け止められているか。

☆大西典良理事…奥様が夫名義で受信契約をした場合においても契約は有効で、夫に支払責任が生ずるといふふうに考えております。即日、札幌高裁に控訴いたしました。

☆二ノ湯議員…NHKの受信料は、法律では義務でありますけれども、支払は義務でない、また罰則もない。受信料の負担の公平という観点から、支払義務化についてどう思われるか。

☆原口一博総務大臣…受信料の支払義務化は、公共放送としてのNHKの自主自律という性格に深くかわる問題でございます。強制徴収となれば、税と同じになってしまいます。日本の制度は視聴者との信頼関係が重視されている理想的な制度だと思えます。慎重な議論が必要だと私は考えております。

☆二ノ湯議員…平成24年度から受信料10%を還元すると、明言されております。私は、お金を還元するよりも、番組の質の向上とか、放送技術の開発ということにお金を投資した方がいいのではないかと思えます。その点をお伺いしたいと思えます。

☆福地茂雄会長…効率化を進めて何らかの形で視聴者に還元していくことは必要だと思っております。その前提が放送品質を落とすはならない。これはきつちりと守っていききたいと思っております。

☆二ノ湯議員…NHKが取り組む中で環境問題も大きな柱だと、思っております。放送時間を少し縮めることによってエネルギーの消費を減らすことも一つの方法だと思えます。

☆日向英実理事…毎年度、少しずつ放送時間を短縮しておりますし、ラジオの第二放送についても、少しずつではありますけれども放送時間短縮を今始めているところですが、そうしますと、相当視聴者の方々から、なぜ放送をやめるのかという御意見もかなりたくさんいただきました。短縮だけではなくて、NHKが使う電力のソースをなるべく、例えば太陽光発電とか別の電力源を開発していくというか、それを増やしていくということも併せてやっていきたいというふうに思っております。

☆二ノ湯議員…石油危機の時はたしか12時で放送が終わったと思います。なぜNHKが番組まで短縮しているのか。国民に環境意識を浸透させるのにいい方法ではないかと、思ったりするんですが。

☆日向英実理事…環境問題については継続的にNHKは取り組んでおりますので、その一環として、NHK自らの取組も含めてきちっと視聴者の方に説明できるように機会をつくっていききたいというふうに思えます。

☆二ノ湯議員…明治維新からあと10年で大体150年。先人の努力で先進国の仲間入りしました。地域を歩いておきますと、

中央で活躍した政治家よりも、地方で一生懸命頑張っている人の方がいまだに住民の人にとっては大きな存在なんです。だから、そういう人たちにスポットを当てることによって、若者に自分たちも地域のために頑張ろうというような刺激を与えるような番組を作ってもらいたい。それがNHKの大きな役割でもあると、思っております。

☆福地茂雄会長…NHKにおいても地域の元気を取り戻す。地域にうずもれたいろいろな伝統文化、伝統芸能とかあります。そういったものを掘り起こすということもNHKの大きな仕事だろうと思っております。

☆原口一博総務大臣…二ノ湯委員と同じ思いを持っております。地域を支え、地域のために活躍された方々にスポットを当てて、そしてその方々の歩みやあるいは御苦労を地域で知ることというのは極めて大事でございます。



## 本会議質問要旨(4月7日)

☆二ノ湯議員…私は、自由民主党・改革クラブを代表して、ただいま議題となりました地域主権改革関連二法案及び地方自治法改正案について、関係大臣に質問をいたします。政権交代の美名の下、民主党がマニフェストに掲げ、現在、鳩山内閣が押し進める政策の多くは日本の国力低下をもたらすものであると言わざるを得ません。識者からは、20世紀初頭、非常に豊かであったアルゼンチンが、戦後誕生した政権のばらまきや過度の福祉政策により、国力の大きな衰退を招いたと指摘されています。同様のことが今、日本にも起こりかねないと主張されています。この指摘が現実のものとならないことを私は強く望んでいます。しかし、誠に残念なことに、国民生活に重大な影響を与え、将来世代にも大きな負担を残す政策が納得のいく説明を全く欠いたまま進められています。制度設計に重大な欠陥を抱えたまま先日施行された子ども手当しかり、また高校授業料無償化しかりであります。さらに、安全保障上大変重要な基地移転問題をめぐっては、総理大臣始め関係閣僚の二転三転する言葉で同盟国を困惑させ、沖縄県民の気持ちをもてあそび続けております。そして、鳩山内閣のでたらめな政策のうち、その代表例の一つが本日の議題である地域主権改革であります。地域主権を標榜する鳩山政権ですが、その政治姿勢、政治手法たるや地域主権とは程遠いのが実情です。民主党は、マニフェストで盛り込んだからとの理由で、八ッ場ダムでは地元住民や関係者らの意向を全く無視し、建設中止を決定しました。しかし、ダムが所在している群馬県第5区では、ダム建設を推進する自民党候補者が圧倒的な勝利を収め、

民主党は候補者すら擁立できませんでした。一例にすぎませんが、これのどこに地域主権を見い出すことができるのでしょうか。また、コンクリートから人へという、まるでざれごとか寝言のようなスローガンの下、国の公共事業関係経費や地方単独事業も大幅に削減するなど、地方経済にも大きなダメージを与えています。このような急激な事業の削減は、決して地域の声や行政需要を踏まえたものではないのであります。このように、地域生活に不可欠な公共事業を削減しておきながら、他方では民主党県連等からの要望があった事業については、その多くで事業費の上乗せをしているのであります。これは、あなた方が批判していた利益誘導政治そのものではないですか。そして、陳情は小沢民主党幹事長の下、幹事長室に一元化されています。これはもはや国政の私物化であります。確かに、総選挙で民主党は勝利を得ましたが、有権者は民主党にすべてを白紙委任したわけではありません。ましてや、小沢幹事長に独裁的権限を与えたわけでもありません。自らの欲得のままに国政を独り占めするなど、決して許されません。こうした仕組みは、地域主権どころか、小沢独裁による中央集権にほかならないと考えます。



本会議場での二ノ湯議員

## 参議院総務委員会(4月13日) ★地方議会議員年金について

☆二ノ湯議員…地方議会議員の年金財政が危機的な状況になってきました。地方議会議員年金が必要かどうかを、お伺いしたい。

☆原口一博総務大臣…互助の精神にのっとり年金を給付する制度を設けていただいているのが地方議会議員年金でございます。地方議会議員年金というものを廃止するという立場には立たないで、何とかこれを維持するためには何が必要かと今話し合いをさせていただいています。

☆二ノ湯議員…都道府県会議員、政令指定都市の議員は、ボーナスも含めて、掛金が大体150万ぐらいになっている。若い人はそんなに高い掛金を払うならやめてくれと言ひ、受給者はこれ以上カットされたら生活にも支障が出る。大変難しい問題を抱えている。各界各層から多くの優秀な意欲ある人が地方議会に出てもらうためには何らかの身分保障が必要だと、思いますが。

☆原口一博総務大臣…国民の皆さんにご理解を得て、是非、私といたしましてはこの議員年金、存続すべきだと考えているんです。ただ、そこに向かう公費の負担の額については、やはりそこにも制限があるんだということも事実なので、なお地方議会関係者の方々の御意見を伺いながら、もう少し時間を掛けて、結論を導いていきたいと、このように考えておるところでございます。

☆二ノ湯議員…この地方議会議員年金は、地方公務員等共済組合に強制加入です。しかし、給付はそれぞれの共済会から支給される。同じように選挙された首長の場合は、地方公務員等共済組合に加入できる。議員も組合に加入できないのか。

☆小川淳也大臣政務官…現在の地方公務員等共済組合法におきましては、加入の対象を常勤職員というふうにいたしております。直接はやはり長、首長ということになります。時代の変化や国民の理解、そういったものを総合的にこれから少しお時間をいただいで議論をさせていただきたいと考えております。

### 第199回 みんなで歩こう湯歩会

- ・日 時：4月25日(日) 小雨決行
  - ・集合時刻：午前9時(時間厳守)
  - ・集合場所：南座前
  - ・コース：南座前→加茂川沿い→糺の森→加茂川東岸→北大路橋→植物園南口入園一周→北出入口解散
- ・新緑の好季節で、心地よい散策体験です。今回は加茂川沿いから、花と緑に囲まれた植物園へ。松谷園長自らのご案内です。初参加の方も大歓迎です。植物園入場料は200円ですが、府内の60才以上の方は無料です。公的な身分証明書の提示が必要です。(診察券は無効)
- (当日) ☎090-1956-7460

歩くことは健康の基本

### 第198回 みんなで歩こう湯歩会(参加者65名)



長岡天満宮にて

### 「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会 年会費 1万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所 ☎075-315-2228

### みんなで歩こう湯歩会

200回達成記念を感謝して

### —天橋立と伊根の舟屋への旅—

- ・日 時：5月30日(日) 雨天決行
- ・集合時刻：午前8時(時間厳守)
- ・集合場所：中信西院支店前(ヤサカ観光バス) 四条春日西北(阪急西院駅西へ150m)
- ・参加費：5千円(バス、昼食代含む)(当日徴収致します。) キャンセルでも会費は徴収致します。
- ・申し込み先：二ノ湯事務所に電話又はFAXで
- ・締切日：5月22日(定員になり次第締め切ります)
- ・コース：西院—京都縦貫自動車道南丹PA(トイレ休憩)—丹波和知—天橋立智恩寺—天橋立遊歩道—籠神社—昼食(天橋立ドライブイン)—伊根舟屋遊覧船乗船—天橋立(土産店)—京都縦貫自動車道—南丹PA—西院 中信前(18時予定)

湯歩会も皆さんのご協力で200回の記念となりました。今回は特別行事として行楽シーズンたけなわの天橋立の遊歩道と伊根の舟屋観光の旅です。あなたの知人、友人お誘い合わせ、ぜひご参加ください。参加人数に限りがあり、満員になり次第、先着順で締め切らせていただきます。歩くのに自信のない方は文殊堂や回転橋などを見て、昼食場所までバスで移動できます。

みんなで歩こう湯歩会世話人一同

### 身辺雑記

一、民主党は定員が2名以上の選挙区には複数候補者を擁立する方針である。京都選挙区でも2人目を決めた。何人立候補しようかと、気にしても仕方がない。自民党は知事選挙でも地力を発揮した。頑張れば、必ず道は拓けるとの信念で夏までひたすら進むだけである。

一、選挙のやり方も昔と随分変わった。電話を掛けても半分以上留守、演説会への動員は大変な労力、選挙カーで回って

も反応はなし。どうすればいいのか。数年先の選挙は今と全く違った様相になっているかもしれない。

一、平沼赳夫氏を代表とするミニ政党「たちあがれ日本」が生まれた。自主憲法を制定し、「本当の日本」を目指すのが目標。理念、志は高いが残念ながら若い政治家の参加がなかった。しかも、平沼氏と与謝野氏の政治理念が合致するの。心配の種が尽きないスタートである。

一、報道各社から二ノ湯議員の大学卒業証書の写しを貰いたいと申し入れがあった。今頃なぜだと聞いたら、以前経歴詐称をした議員があったので、本当に卒業しているかどうか確認のためという。卒業して43年以上。証書をどこへしまったか、探すのに、一苦労した。

一、夏の選挙は大変でしょうとよく聞かれる。寒いときはカゼを引くかもしれないので、暑い時のほうが好きですと答える。私はすぐに日焼けする性質で、一日太陽の光に当たれば真っ黒になる。それの方が自分への力にもなる。

### 「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい

年間購読料 1200円

郵便振替口座 01000-4-62360

口座名：みんなで政治を考える会

— お問い合わせ先 —

二ノ湯さとし事務所

電話 075-315-2228

ホームページを開設いたしました

<http://www.ninoyusatoshi.com>